

二 労働団体と手続

(一) 横浜船渠株式会社手続

横浜市長佐野橋渡船渠株式会社社長須田利信専務取締役
佐野永雄士長ノ経営ニ依リ造船並ニ船舶修理ヲ専ラトセリ
一 手続者生ノ動機大畧次ノ如シ

一 本社ニ於テ専ラ専務取締リノ為最止準社員(職長)及職工等ノ
一部方ヲ淘汰スルハノ風説ニ脅カサレ職長以下職工等ハ自己
ノ地位ヲ安全ナラシムルニハ先ツ友愛会ニ加盟シ同會ヨリ資本
トシタル組合ヲ組織スルノ要アリトテ今令社造船部職工
ヲ中心トシ横濱造船組合ヲ組織シ八月廿四日之カ発令式
ヲ舉ゲ只役員ハ職員ノ團結力ニ依リ淘汰ノ豫防線ヲ張り
身上ノ保証ヲ獲得セシメトテ奴方メタリ此ノ折令社側ハ同組合

幹事長小林茂十郎カ妻ノ病ニ就テ五日間缺勤シタルハ規
則違反及ナリトテ九月十五日解職シ幹事田中保壽カ泥酔
シテ他人ニ迷惑ヲ懸ケタルハ令社職工一般ノ体面ヲ汚シタル
行為ナリトテ是又令十七日解職シタリ 職工等ハ令社カ前
記幹事等ヲ職有シタルハ組合ノ中心人物ニシテ友愛会ハ員ナル
カ故ニ規則違反及ニ禁口ノ解令僅シタルモノニテ不都合ナリト
宥可々協議シ願首者復職運動ニ調印ヲ求メフ、アリシヲ
令廿一日夜日本海員組合文部樓上ニ役員会ヲ開キ解職
及退職手續並ニ増給復職等ノ諸件ヲ要求スルノトシ
決議シ同組合顧問須田五太郎ニ承認ヲ得ントセリ
須田ハ其早計ヲ懇諭シ要件各件ヲ希望各件ニ改メシメ
須田自身之ヲ令社ニ交渉シタル結果小林田中ノ解職
者ニ慰安料トシテ解令僅手當ヲ支給シ令廿四日ヲ以テ